

たのしい食育

※このおたよりは、食に関する情報を載せていますので、お子さんと一緒にご覧ください。

令和6年1月
編集・発行
福知山市学校給食会
学校給食センター
(小学校)



全国学校給食週間とは何ですか

日本の学校給食は明治22年に始まり、各地に広まりましたが、昭和時代に入ると戦争の影響により給食の提供が中断されました。しかし、戦後、子ども達の栄養失調を救おうとアメリカのユニセフから食料の寄贈を受けて再開されました。

そのことを記念し、学校給食の意義や役割について理解を深め、関心を高めることを目的に「全国学校給食週間」が定められ、各地で様々な行事が行われています。

学校給食のはじまり

日本の学校給食は、明治22年(今から135年前)に山形県の私立忠愛小学校で始まり、当時の給食は、貧しくて生活に困っている家庭の子どもを対象に無料で昼食が提供されたものでした。



脱脂粉乳を知っていますか

昭和21年~30年代頃には、栄養失調の子ども達を救おうとユニセフからの救助物資の一つである脱脂粉乳が給食に提供されていました。脱脂粉乳とは、牛乳の乳成分を除き、乾燥させて粉状にしたもので、給食では、脱脂粉乳をお湯で溶いたものが提供されていました。牛乳よりもあっさりとした味わいで、苦手な子どもも多くいましたが、食べ物が増えた時代に子ども達の空腹と成長を助けてくれました。

給食の牛乳は、今から約60年前に提供されるようになったんだよ！容器も昔はビンに入っていたんだって！



給食週間中の 給食メニューについて



今年の全国学校給食週間期間中は、特別献立として昔の給食を再現した給食が出ます。昔の給食を味わうことで給食の歴史を知り、普段の給食や食生活について振り返る機会にしましょう。

1/24 (水) 明治・大正時代の給食



日本で初めて給食が始まった明治22年と学校給食が日本中に広まっていった大正12年の給食を組み合わせて一部再現します。

1/25 (木) 昭和時代の給食



戦後の給食を一部再現します。また、昭和40年頃から提供されてきたミルメークも登場します。

1/26 (金) 昭和時代の給食



昭和27年頃、牛肉やぶた肉より安く栄養価の高いくじら肉がよく食べられていました。当時の給食を一部再現します。

1/29 (月) 昭和時代の給食



米飯給食が開かれ、脱脂粉乳から牛乳に変わりました。昭和52年の給食を一部再現します。

1/30 (火) 現在の給食

子ども達が食に関する正しい知識や地産地消などについても学べるよう学校給食が教材として活用されるようになりました。地域の食材や郷土料理など様々なメニューが登場しています。30日は、福知山市の地場産物をたくさん使った給食を提供します。

ぜひ、お家の人や先生などと学校給食の思い出話をしてみましょう！

参考：一般社団法人全国学校給食推進連合会ホームページ、写真：独立行政法人日本スポーツ振興センター